

日	月	火	水	木	金	土
		1 ◆♥	2 ♣	3	4	5
6 イベント①	7	8 ◆	9 ♣	10	11	12 えいがかい
13	14	15 ◆	16 ♣	17	18	19 イベント② おはなしひろば
20	21	22 ◆	23 ♣	24 休館日	25	26 イベント③ 映画会
27	28	29 ◆	30 休館日	開館 9:00～20:00		

今月のカレンダー

映画会

えいがかい(児童向け) 12日(土)11:00～

「なかよしおばけ おばけ遊園地へ行く」49分

映画会(一般向け)26日(土)14:00～ 「おくりびと」2008年/131分

◆ かるがもタイム【赤ちゃんと一緒にお気軽に】 毎週(火)10:00～12:00

♥ かるがもおはなし会【赤ちゃん～幼児向け】 第1(火)11:00～11:30

♣ おはなし会【幼児～児童向け】 毎週(水)15:00～15:30

おはなしひろば【ストーリーテリング・わらべうた】 19日(土)11:00～

イベント

①赤ちゃんアート 6日(日) 11:00 / 11:20 / 11:40(全3回)

②こもねサロン 19日(日) 14:00～

③作って遊ぼう工作会 26日(日) 10:00～



小茂根図書館HP

今月のイベント情報

赤ちゃんアート 6日(日) 11:00 / 11:20 / 11:40

対象……0歳児とその保護者

定員……全3回 各回4名 テーマ お話の世界

受付……8月23日(日)9:00～



こもねサロン 19日(土)14:00～

気軽に本を紹介しあう楽しい会です
図書館側のテーマは「ドラマ」ですが、
ご自由に好きな本の紹介で結構です。

対象……一般 定員……6名

受付……9月5日(土)9:00～



作って遊ぼう工作会 26日(土)10:00～12:00

前半はボールを手作りし、後半はそのボールを使って「ボッチャ」を体験します。
「ボッチャ」は、誰もが楽しめるように工夫されたユニバーサルスポーツです。

受付……9月13日(日)9:00～

ちくま文庫の紹介

ちくま文庫とは…

株式会社筑摩書房が1985年から発行している文庫本のシリーズです。古い名作や科学、芸術、漫画、サブカルチャーまで、たくさんのジャンルの本があります。小茂根図書館では3の表示の棚にあります。ぜひ読んでみてください。

「やわらかい頭の作り方」

細谷功/文 (B141.5) 2023年

「一銭五厘たちの横丁」

児玉隆也/著 (B213.6) 2025年

「人生はマナーでできている」

高橋秀実/著 (B385.9) 2025年

「時間とは何か」

池内了/著 (B421.2) 2026年

「垂土のおしゃれ料理」

水森垂土/著 (B596) 2023年

「犬がいるから」

村井理子/著

(B645.6) 2024年

「四角形の歴史」

赤瀬川源平/著

(B720.2) 2022年

「デヴィッド・ボウイ、

変幻するカルト・スター」

野中モモ/著

(B767.8) 2026年

「昭和ジャズ喫茶伝説」

平岡正明/著

(B764.7) 2025年

「私の東京地図」

佐多稲子/著

(B913.6) 2026年

新しく入った本 (一部紹介)



書名	著者名	出版社	分類
また団地のふたり	藤野千夜	双葉社	B913.6
生家の団地に暮らす、なっちゃんとノエチ。50代、独身、幼なじみ。一番親しい友人が昔のまま近所にいる。心強い。というか、楽しい。幸せのひとつのかたちを描く、理想的な「二拠点生活」物語。「団地のふたり」の続編。			
世界の科学が証明した絶対に考えてはいけないことリスト	堀田 秀吾	フォレスト出版	159冊
あの人に嫌われていないか？ また同じ失敗をするのでは？ 世界中の学術研究で提案されている「考えてはいけないこと」と「考えないための方法」を紹介し、思考の呪縛から解放される道を探る。			
なぜ働いても家を買えないのか	外山 尚之	日経BP日本経済新聞出版	365.3
都心マンション価格は10年で2倍。もはや普通の社会人は家を買えないのか？ 現在の日本で何が起きているのか？ ゼネコン、購入者など数百人への取材をもとにその真相を探る。『日経MJ』連載を追加取材、加筆修正。			

(内容紹介は、TRC MARCより抜粋)

企画展示ピックアップ

毎月テーマを替えて、館内の各所での本の展示をしています。
ぜひチェックしてみてください。

一般	この世は謎に満ちている	9/1 ~9/29	児童	虫たち	9/1 ~9/29
YA	元気	9/1 ~9/29	家読	長生きしてね	9月中旬以降

ているのをご存知の方もいるじゃろう。
おもしろいのは、よその村の田の神がいると
霊驗あらたかだと言つて、落とし文を残して
石像を盗んでくる風習があったことじゃ。
かえってバチがあたるんじゃないかと心配に
なるが、もちろんそのままにはせん。数年後
には村同士で返却式を行つて交流をはかった
そうじゃ。

「インターネット時代の妖怪学」

11月1日

イベント開催決定！

かみ
たの神



妖怪博士のいる図書館

妖怪検定公式サイトにて「妖怪博士のいる図書館」として紹介されています！